

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質・性能</b>									<b>3.4</b>
<b>Q-1 室内環境</b>							<b>0.40</b>		<b>3.6</b>
<b>1 音環境</b>							<b>3.3</b>		<b>3.3</b>
1.1 騒音							3.0	0.40	-
1 暗騒音レベル							3.0	1.00	3.0
2 設備騒音対策							-	-	-
1.2 遮音							3.9	0.40	-
1 開口部遮音性能							3.0	0.40	3.0
2 界壁遮音性能							5.0	0.30	3.0
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							4.0	0.15	3.0
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							4.0	0.15	3.0
1.3 吸音							3.0	0.20	3.0
<b>2 温熱環境</b>							<b>3.6</b>	<b>0.35</b>	<b>3.6</b>
2.1 室温制御							3.8	0.50	-
1 室温設定							3.0	0.60	3.0
2 換気・加湿・除湿制御性							-	-	-
3 外皮性能					W		5.0	0.40	3.0
4 ゾーン別制御性							-	-	-
5 温度・湿度制御							-	-	-
6 個別制御							-	-	-
7 時間外空室に対する配慮							-	-	-
8 監視システム							-	-	-
2.2 湿度制御							1.0	0.20	3.0
2.3 空調方式							5.0	0.30	3.0
アリーナ系統に床吹出し方式を採用									
<b>3 光・視環境</b>							<b>3.1</b>	<b>0.25</b>	<b>3.1</b>
3.1 昼光利用							4.6	0.30	-
1 昼光率							5.0	0.60	3.0
2 方位別開口							-	-	3.0
3 昼光利用設備					W		4.0	0.40	3.0
教室は開口部を大きくして昼光を確保、昼光率3%程度									
明るさセンサーによる自動調光制御・吹抜部に光庭やトップライトを採用									
3.2 グレア対策							2.0	0.30	-
1 透明ガラスのグレア							-	-	-
2 昼光制御					W		2.0	1.00	3.0
3.3 照度							3.0	0.15	-
1 照度							3.0	1.00	3.0
2 照度均斉性							-	-	-
3.4 照明制御							3.0	0.25	3.0
<b>4 空気環境</b>							<b>4.3</b>	<b>0.25</b>	<b>4.3</b>
4.1 発生源対策							5.0	0.50	-
1 化学物質汚染							5.0	1.00	3.0
2 化学物質対策							-	-	-
3 デニ・カビ等							-	-	-
4 レジオネラ対策							-	-	-
F☆☆☆☆の材料を積極的に採用									
4.2 換気							3.3	0.30	-
1 換気量							3.0	0.33	3.0
2 自然換気性能							4.0	0.33	3.0
3 取り入れ外気への配慮							3.0	0.33	3.0
4 給気計画							-	-	-
教室は開口部を大きくし、自然換気面積を確保、有効開口率0.09程度									
4.3 運用管理							4.0	0.20	-
1 CO <sub>2</sub> の監視							3.0	0.50	-
2 喫煙の制御							5.0	0.50	-
施設内・敷地内の全面禁煙									
<b>Q-2 サービス性能</b>							-	<b>0.30</b>	<b>3.4</b>
<b>1 機能性</b>							<b>3.4</b>	<b>0.40</b>	<b>3.4</b>
1.1 機能性・使いやすさ							4.0	0.60	-
1 広さ・収納性							-	-	3.0
2 高度情報通信設備対応							-	-	3.0
3 バリアフリー計画							4.0	1.00	-
車椅子用駐車場・EV、多目的便所の整備等									
1.2 心理性・快適性							2.5	0.40	-
1 広さ感・景観							1.0	0.50	3.0
2 リフレッシュスペース							-	-	-
3 内装計画							4.0	0.50	-
建物コンセプトに基づいた事前検討を行っている									
<b>2 耐用性・信頼性</b>							<b>3.7</b>	<b>0.31</b>	<b>3.7</b>
2.1 耐震・免震							3.8	0.48	-
1 耐震性							4.0	0.80	-
2 免震・制振性能							3.0	0.20	-
建物の重要度係数1.25									
2.2 部品・部材の耐用年数							3.5	0.33	-
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔					W		4.0	0.29	-
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					W		3.0	0.12	-
3 配管・配線材の更新必要間隔					W		4.0	0.29	-
4 主要設備機器の更新必要間隔					W		3.0	0.29	-
耐用年数25年以上の外装材を採用									
エコケブル、ステンレス鋼管の採用									
鋼板製ボイラーが15年									
2.3 適切な更新							-	-	-
1 床・床板・外装仕上げ材の更新							-	-	-
2 配管・配線材の更新							-	-	-
3 主要設備機器の更新							-	-	-
2.4 信頼性							4.0	0.19	-
1 空調・換気設備							5.0	0.20	-
2 給排水・衛生設備							4.0	0.20	-
3 電気設備							3.0	0.20	-
4 機械・配管支持方法							4.0	0.20	-
5 通信・情報設備							4.0	0.20	-
重要度に応じてシステムを区分している									
節水型器具の採用、配管システムを区分している									
耐震クラスA									
NTT光・メタル・携帯回線の確保に電話・イントラの確保、地上階に機器設置									

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>3 対応性・更新性</b>					<b>3.0</b>	0.29	-	-	<b>3.0</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>					<b>3.6</b>	0.31	-	-	
1 階高のゆとり				1階は3.8m、2～4階は3.7mを確保	4.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ					3.0	0.40	3.0	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>					<b>3.0</b>	0.31	-	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>					<b>2.6</b>	0.38	-	-	
1 空調配管の更新性					1.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性					3.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性					3.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性					3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性					3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.22	-	-	
<b>Q-3 室外環境(敷地内)</b>					-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.2</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>		G			<b>2.0</b>	0.40	-	-	<b>2.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>		G			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>					<b>4.5</b>	0.40	-	-	<b>4.5</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S	隣接する神社との関連も考慮した位置に、地域開放・地域交流の場としてのホール・図書室・郷土資料展示のふるさとルームを配置している。庇、ピロティ、中庭を設け、職員室からの見通しも確保	<b>5.0</b>	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G		樹木、芝生の緑地帯を確保し、温熱環境に配慮している	<b>4.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>					-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.8</b>
<b>LR-1 エネルギー</b>					-	<b>0.40</b>	-	-	<b>4.2</b>
<b>1 建物の熱負荷抑制</b>	W			PAL値:244MJ(m <sup>2</sup> ・年)	<b>4.0</b>	0.30	-	-	<b>4.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>					<b>4.5</b>	0.20	-	-	<b>4.5</b>
2.1 自然エネルギーの直接利用	W			トップライトの採用	<b>4.0</b>	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用	W	S		太陽光パネル、バイオマスボイラーの採用	<b>5.0</b>	0.50	-	-	
<b>3 設備システムの高効率化</b>	W			高効率空調機、照明器具の採用	<b>5.0</b>	0.30	-	-	<b>5.0</b>
<b>4 効率的運用</b>					<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
4.1 モニタリング	W				-	-	-	-	
4.2 運用管理体制	W				<b>3.0</b>	1.00	-	-	
<b>LR-2 資源・マテリアル</b>					-	<b>0.30</b>	-	-	<b>4.1</b>
<b>1 水資源保護</b>					<b>3.6</b>	0.15	-	-	<b>3.6</b>
1.1 節水	W			自動水栓洗面器、節水型便器、センサー自動小便器、一部擬音装置	<b>4.0</b>	0.60	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用					<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67	-	-	
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				3.0	0.33	-	-	
<b>2 低環境負荷材</b>					<b>4.2</b>	0.85	-	-	<b>4.2</b>
2.1 資源の再利用効率					<b>4.6</b>	0.35	-	-	
1 躯体材料の再利用効率	W			電炉鋼を用いている	5.0	0.67	-	-	
2 非構造材料の再利用効率	W			再生木デッキ材、階段滑り止め	4.0	0.33	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W			産産樹種を積極的に採用	<b>4.0</b>	0.04	-	-	
2.3 有害物質を含まない材料	W			接着剤、塗料、塗床等で環境配慮品を採用	<b>5.0</b>	0.08	-	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用	W				<b>3.0</b>	0.18	-	-	
2.5 部材の再利用可能性	W			躯体と仕上材が容易に分別可能。内装材と設備の分離が容易	<b>5.0</b>	0.18	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回避					<b>3.3</b>	0.18	-	-	
1 消火剤	W			ハロン消火剤使用なし	4.0	0.33	-	-	
2 断熱材	W				3.0	0.33	-	-	
3 冷媒	W				3.0	0.33	-	-	
<b>LR-3 敷地外環境</b>					-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.9</b>
<b>1 大気汚染防止</b>	W				<b>3.0</b>	0.15	-	-	<b>3.0</b>
<b>2 騒音・振動・悪臭の防止</b>					<b>3.0</b>	0.10	-	-	<b>3.0</b>
2.1 騒音					3.0	1.00	-	-	
2.2 振動					-	-	-	-	
2.3 悪臭					-	-	-	-	
<b>3 風害、日照障害の抑制</b>					<b>3.3</b>	0.10	-	-	<b>3.3</b>
3.1 風害の抑制					3.0	0.70	-	-	
3.2 日照障害の抑制				日影規制に対して、1ランク上の基準を満たしている	4.0	0.30	-	-	
<b>4 光害の抑制</b>				広告塔なし	<b>4.0</b>	0.05	-	-	<b>4.0</b>
<b>5 温熱環境悪化の改善</b>	W	G	S		<b>2.0</b>	0.30	-	-	<b>2.0</b>
<b>6 地域インフラへの負荷抑制</b>					<b>3.6</b>	0.30	-	-	<b>3.6</b>
6.1 雨水処理負荷抑制	W			雨水流出係数0.51であり、0.6以下のため	5.0	0.30	-	-	
6.2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.10	-	-	
6.3 交通負荷抑制					3.0	0.30	-	-	
6.4 廃棄物処理負荷	W		S		3.0	0.30	-	-	

■ LR-1 用途別得点表		学校	-	-	-	面積按分 総合スコア
		10,762 m <sup>2</sup>	-	-	-	<b>4.0</b>
<b>1 建物の熱負荷抑制</b>		<b>4.0</b>	-	-	-	
<b>3 設備システムの 高効率化</b>	ERRによる評価 個別設備による評価	<b>5.0</b>	-	-	-	<b>5</b>
<b>3.1</b>	空調設備	-	-	-	-	
<b>3.2</b>	換気設備	<b>3.0</b>	-	-	-	
<b>3.3</b>	照明設備	<b>5.0</b>	-	-	-	
<b>3.4</b>	給湯設備	-	-	-	-	
<b>3.5</b>	昇降機設備	-	-	-	-	